

## 在来線一部車両の台車枠のひび発見について

2011年4月13日  
東日本旅客鉄道株式会社

総武快速横須賀線用電車の台車に、定期検査等で複数の台車枠にひびがあるのを発見しました。ひびの状況は走行安全性を支障するものではありませんが、お知らせします。

### 1. 経緯（別紙参照）

1月21日（金）東京支社東京総合車両センターにおいて総武快速横須賀線用電車の台車を検査（定期検査）していたところ、一つの台車の主電動機（モーター）取付台下部と横梁との溶接部に約8cmのひびがあるのを発見しました。

この事象発生を受け、同じ構造の川崎重工製台車枠を一斉点検していたところ、4月13日（水）に、横浜支社鎌倉車両センターにおいて、総武快速横須賀線用電車の1個の台車の主電動機（モーター）取付台下部と横梁との溶接部1箇所について約5cmのひびを発見しました。

### 2. 発生した台車

1月21日に発見されたひび；1996年11月に製造された台車 1台車  
4月13日に発見されたひび；1996年11月に製造された台車 1台車

### 3. 原因

当該箇所は受ける力が小さい部位であることから、製造時の溶接作業の不良が原因とされます。

### 4. 対策

今回、ひびが発見された部位は、その部位が受ける力が小さく、発見された台車は270～290万km走行して5～8cmのひびが発生したもので、ひびの進展は遅く安全上問題はありません。念のため、川崎重工(株)で製造した同一形式の台車389両分について、4月末を目処に一斉点検をしています。（4月13日現在約96%完了）  
また、今回発見された台車については、すでに補修を行いました。

### 5. 対象車両

大糸線等	E127系	20両分
中央緩行線等	209系	32両分
横須賀線等	E217系	72両分
山手線等	E231系	136両分
常磐線等	E501系	16両分
東北線等	701系	113両分

E 2 1 7系台車主電動機取付台下部と横梁との溶接部のひびについて

